

2020年度 日本工学院八王子専門学校											
音響芸術科											
卒業制作											
対象	2 年次	開講期	後期	区分	選	種別	実習	時間数	180	単位	6
担当教員	新保、小林、栃木、榎本、山本、渡辺、瀧口、飯村、斎			実務経験	有	職種	エンジニア、ディレクター、クリエイター				
授業概要											
作品制作を通して、外部企業や組織との折衝にて社会人としての基本を身につけることを第一の目的とする。その上で、過去の例や既存のコンテンツにとらわれることなく、独創性を持った新しいコンテンツの制作を目指し、未来のエンジニアにとって不可欠となるクリエイティブな能力を育むことを目的とする。											
到達目標											
制作の最初である企画立案の段階から最後の卒業制作発表会に至るまですべてを学生自らの手で実現することを目標とする。外部の企業、あるいは公共組織などに自らアプローチをかけ、制作に関わる全ての段取りを経験していく中で社会のシステムを理解し、コミュニケーションを初めとする社会人として必要な知識・技能を身につけることを目標とする。											
授業方法											
「自分たちが学んだ知識・技術を使い、誰かの為になるコンテンツを制作する」というテーマを自らの視点でとらえ、企画立案する。これらの作品すべてについてプレゼンテーションを行い制作すべき作品を自ら決定する。決定後にこれらの作品の提案者がスタッフを募りグループでの制作に移行する。											
成績評価方法											
課題 6 0 %、提出物 2 0 %、平常点 2 0 %											
履修上の注意											
外部の企業・組織とのアポイント、打ち合わせ等を教員の力を借りることなく自ら行う。予算についても作品ごとに提示し、プロデュースを担当する教員との会議を経て決定する。外部との折衝や予算の執行に関しては、プロデューサーへの報告を徹底する。新たに必要となるスキルについては、担当教員などに自ら申し出てレクチャーを受けるようにする。遅刻・欠席については厳しく指導する。											
教科書教材											
必要に応じてプリントを配布。											
回数	授業計画										
第 1 回	企画立案テーマの提示。個人での企画立案ができる。										
第 2 回	グループプレゼンテーション幾つかのグループに分かれプレゼンテーションを行い企画を絞り込むことができる。										
第 3 回	最終プレゼンテーション絞り込まれた企画について更にブラッシュアップを行い、最終的な制作作品を決定できる。										

2020年度 日本工学院八王子専門学校	
音響芸術科	
卒業制作	
第4回	作品制作1 決定した企画について制作のための準備を行うことができる。（台本・予算書の作成や外部との折衝など）
第5回	作品制作2 作品制作～各班ごとにスケジュールを作成しそれに沿って作成、収録、編集等を進める～
第6回	作品制作3 作品制作～各班ごとにスケジュールを作成しそれに沿って作成、収録、編集等を進める～
第7回	作品制作4 作品制作～各班ごとにスケジュールを作成しそれに沿って作成、収録、編集等を進める～
第8回	作品制作5 作品制作～各班ごとにスケジュールを作成しそれに沿って作成、収録、編集等を進める～
第9回	作品制作6 作品制作～各班ごとにスケジュールを作成しそれに沿って作成、収録、編集等を進める～
第10回	作品制作7 作品制作～各班ごとにスケジュールを作成しそれに沿って作成、収録、編集等を進める～
第11回	作品制作8 作品制作～各班ごとにスケジュールを作成しそれに沿って作成、収録、編集等を進める～
第12回	作品制作9 作品制作～各班ごとにスケジュールを作成しそれに沿って作成、収録、編集等を進める～
第13回	作品制作10 作品制作～指定のフォーマットに沿った形での納品～
第14回	卒業制作発表会準備卒業制作発表会の企画を立案し、準備を行うことができる。
第15回	卒業制作発表会完成作品を学生同士で、また外部の方々を招待しての発表会を行うことができる。